

2025 年度事業および決算報告について

こくみん共済 coop（全国労働者共済生活協同組合連合会 代表理事 理事長：打越 秋一）は、2026 年 8 月 26 日（水）、こくみん共済 coop ホール／スペース・ゼロ（東京都渋谷区）にて「第 146 回通常総会」を開催し、2025 年度計画経過報告および 2026 年度計画設定などの諸議案が可決されました。

つきましては、2025 年度事業および決算の概要について報告いたします。

I. 2025 年度の取り組みの概要

2025 年度は、「こくみん共済 coop 中期経営政策 2022-25 ～変革と創造～」の最終年度として、中期経営政策で設定しためざす姿の実現にむけて取り組みを進めるとともに、国際協同組合年（IYC2025）を契機とした地域・社会課題への対応や関係団体との共創活動を展開しました。

1. 組合員・生活者との姿 ～寄り添う、身近な存在～

（1）多様なコミュニケーション手段を確立

組合員とのコミュニケーションの多様化や利便性の向上のために、アプリ・マイページの導入・利用拡大の取り組みを継続展開しました。また、生命系共済金のご請求におけるお問い合わせを WEB 上で完結する仕組みの構築や、マイカー共済に関するお問い合わせの即時解消にむけた AI チャット機能の展開等、WEB 機能の拡充の取り組みを進めました。

（2）幅広く安心をサポート

多様化する組合員のニーズを踏まえ、2025 年 4 月に実施した個人長期生命共済・終身生命共済の予定利率引き上げを契機として、資産形成等を含めたトータルな保障の提案を進めました。

さらに、若年層をはじめとした組合員の価値観に寄り添い、「加入」から「変更」、「共済金のお届け」までのすべてがデジタルで完結する「こくみん共済 あっと」（WEB 専用商品）を 2026 年 5 月から実施しました。

（3）事業・運動への参加、共感を拡大

被災地の復興支援につなげる取り組み「みんなで被災地応援プロジェクト」（住まいる共済見積数に応じた寄付）を継続展開しました。

あわせて、持続可能な社会の実現にむけて、カーボンニュートラルへの取り組みを進める等、SDGs ロードマップにもとづく各種取り組みを進めました。

■みんなで被災地応援プロジェクト取り組み状況（2025 年 6 月～11 月末）

見積件数	寄付・助成金額	寄付先
73,489 件	7,348,900 円	日本赤十字社等

2. 協力団体・共創パートナー団体との姿 ～事業と運動の強固なパートナーシップ～

（1）スムーズで迅速な共済活動

セット共済におけるお手続きのデジタル化により、組合員の利便性向上や協力団体の事務等の効率化を進める「セット共済 WEB システム」について、2025 年 2 月から本格展開をおこない、496 団体で導入が決定（2026 年 5 月末時点）しました。

(2) 地域課題解決にむけた共創

「7 才の交通安全プロジェクト」(マイカー共済の見積数に応じた横断旗の寄贈等)と「こどもの成長応援プロジェクト」(こくみん共済「こども保障タイプ」の加入件数に応じたなわとび・長なわの寄贈等)を継続展開しました。

また、国際協同組合年(IYC2025)を契機として、地域課題の解決にむけて、各エリアで他の協同組合等と連携した取り組みを進めるとともに、国際協同組合デーである2025年7月5日に、「見て 聞いて 体験 協同組合フェスティバル」を東京国際フォーラムで他の協同組合等と共同で開催しました。

3. 業務・経営の姿 ～最適な体制、人財の活躍、さらに健全な経営～

(1) 体制・役割を最適化

2025 年 9 月に共済事務、生命系共済金のお届け業務を担う関連事業会社を当会に統合し、組合員へ寄り添う新たな体制づくりを進めました。

(2) 事務・お支払等を高度化・効率化

共済事務手続きの迅速化にむけて、住まいる共済の更新手続きにおける点検業務の自動化を進めるとともに、迅速な共済金のお届けにむけて、団体生命共済の共済金のWEB請求(アプリ・マイページ)に関する導入団体数を拡大しました。また、新たな損害調査システムとして損害調査対応時のチャット機能の活用等、組合員の利便性の向上にむけた取り組みを展開しました。

(3) お役立ちを進める推進体制

組合員や職員の「声」を起点としたCX(組合員体験価値)創造をおこなうCX-Challengeの取り組みを進めました。また、組合員一人一人への寄り添いのために、組合員に関するさまざまな情報を一つにまとめて可視化し、ライフイベントにもとづき保障提案をおこなうCRMシステムを段階的に展開しました。

※CRM(Customer Relationship Management)システム：

こくみん共済 coop の各システムに登録された情報を管理・分析し、組合員との深く長い関係づくりを支援する仕組み

4. 大規模災害への対応

2025年度も複数の大規模災害が発生しましたが、当会として被害への迅速な対応を進めました。特に被害規模が大きかった、2025年12月8日に発生した青森県東方沖を震源とする地震および2026年1月6日に発生した島根県東部を震源とする地震では、受電要員を増員しました。また、受電応答率を低下させないよう、音声自動応答による受付機能の活用や簡易受付の対応を進めました。

2026 年冬期災害においては、迅速な共済金のお届けにむけて、被災エリア外を含む全国の拠点による応援体制を構築し、新たなシステムを活用した書類審査の全国対応をおこないました。

■被災受付・共済金等のお届け状況(2026 年 5 月末時点)

主な大規模災害名	被災受付件数	調査等完了件数	金額
2025 年 12 月 8 日 青森県東方沖を震源とする地震	1,322 件	1,184 件	326,995,100 円
2026 年 1 月 6 日 島根県東部を震源とする地震	895 件	827 件	277,644,000 円
2026 年 冬期災害	19,546 件	11,716 件	4,024,742,334 円

※調査等完了件数には共済金等のお届けの対象とならなかった事案も含まれます。

5. カーボンニュートラルの取り組み

豊かで安心できる社会づくりをめざす生活協同組合として、組合員の皆さまとともにカーボンニュートラルを進め、みんなで環境を守る「ずっとずっとアクション」に取り組んでいます。業務におけるエネルギーや資源の使用を見直すことで、2030年までにCO2排出量60%削減をめざします。

また、2026年5月から組合員の皆さまと一緒に未来につながる森をつくる「こくみん共済coopの森」をスタートしました。組合員の皆さまがマイページに登録いただくことで削減できた紙のコストを、森づくり活動に寄付することで、CO2の吸収量向上に貢献することをめざしています。

※本資料の数値は四捨五入して表記しています。

II. 事業および決算の概況

1. 事業の概況

契約高は799兆円、受入共済掛金は5,297億円、契約件数は2,847万件、契約口数は38.5億口となりました。

2. 損益の概況

(1) 経常収益

経常収益は6,532億円（前期比72億円増）となりました。

(2) 経常費用

経常費用は6,195億円となりました。このうち、支払共済金は3,263億円（前期比87億円増）となりました。

(3) 資産運用

資産運用純益は12億円（前期比479億円減）となり、運用利回りは0.03%となりました。

(4) 経常剰余金

経常剰余金は337億円（前期比481億円減）となりました。

(5) 特別損益

特別利益の主なものとして、公社債の入れ替えに対応するため、価格変動準備金戻入588億円を計上しました。

(6) 割戻金

組合員（契約者）への割戻金の総額は389億円（前期比5億円増）となりました。

(7) 当期剰余金・当期末処分剰余金

当期剰余金は370億円（前期比20億円増）となり、当期首繰越剰余金および当期に取り崩した任意積立金などを加えた当期末処分剰余金は534億円（同70億円増）となりました。

3. 剰余金処分

当期末処分剰余金534億円に対し、剰余金処分額として、法定準備金74億円、任意積立金439億円の合計513億円を計上し、次期繰越剰余金は22億円となりました。

4. 財務の概況

(1) 総資産

総資産は3兆9,484億円（前期比543億円減）となりました。このうち運用資産は3兆4,984億円（同580億円減）となりました。

(2) 負債

負債は3兆3,932億円(前期比961億円減)となりました。このうち共済契約準備金は3兆2,739億円(同237億円減)、価格変動準備金は545億円(同562億円減)となりました。

(3) 純資産

純資産は5,552億円(前期比418億円増)となりました。このうち会員資本は6,466億円(同453億円増)となりました。

5. 主な経営指標について

(1) 修正自己資本

修正自己資本は1兆1,279億円(前期比71億円増)、修正自己資本比率は28.6%となりました。

(2) 基礎利益

費差益は16億円、利差益は186億円、危険差益は1,065億円となり、基礎利益は1,267億円(前期比82億円増)となりました。

(3) 支払余力比率

支払余力比率は1,979.7%(前期比21.8ポイント減)となりました。

(4) 実質純資産額

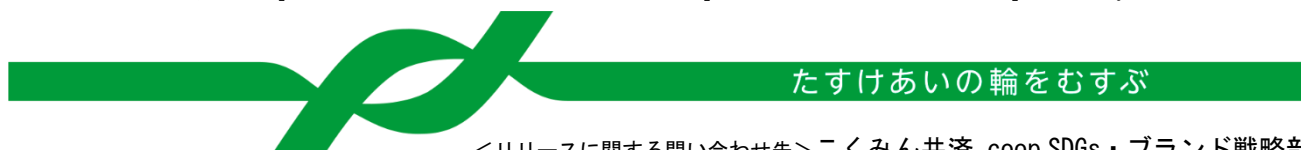
実質純資産額は1兆872億円(前期比2,045億円減)となりました。

<こくみん共済 coop>

正式名称：全国労働者共済生活協同組合連合会

たすけあいの生協として1957年9月に誕生。「共済」とは「みんなでたすけあうことで、誰かの万に備える」という仕組みです。少子高齢社会や大規模災害の発生など、私たちを取り巻く環境が大きく変化しているなか、こくみん共済 coop は、「たすけあい」の考え方や仕組みを通じて「みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会づくり」にむけ、皆さまと共に歩み続けます。

◆こくみん共済 coop たすけあいの輪のあゆみ：<https://www.zenrosai.coop/web/ayumi/>



<リリースに関する問い合わせ先>こくみん共済 coop SDGs・ブランド戦略部
〒151-8571 東京都渋谷区代々木2-12-10 電話：03-3299-4232／Email:koho@zenrosai.coop